



## 推薦入試面接報告

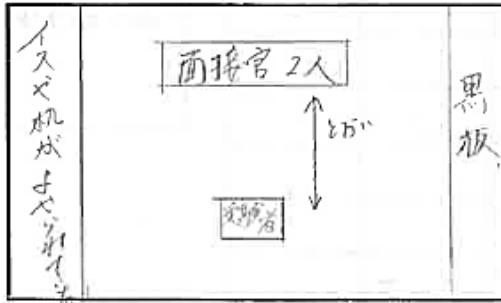
推薦入試の面接が終了し、30日までに全学校の内定結果が通知されます。現在、3年生は一般入試の志願校を確認して、各高校への提出書類を準備しています。そして、2月7日(水)8日(木)に各高校へ願書提出の流れとなります。

今回は、推薦入試面接を受けた志願者の皆さんからの報告を紹介します。

### 面接室の様子(1) 例:那覇高校

### ドアの開閉等(あり・なし)

#### 面接室略図



#### 説明等

面接官との相手が練習の時よりおこった。(那覇高校)

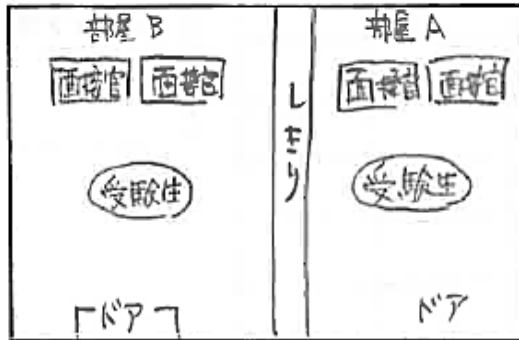
面接官が2人いて、2mほど距離がありました。面接官は二人とも男性でした。(向陽高校)

※那覇西、開邦、那覇国際、小禄、那覇も同様。

### 面接室の様子(2) 例:知念高校

### ドアの開閉等(あり・なし)

#### 面接室略図



#### 説明等

しきりといっても机が1列に並べられているだけで隣の入の音がよく聞こえ、少し、混乱する時があった。(知念高校)

※那覇商業、浦添工業、西原、首里、中部農林も同様。

## 気づいたことや一般入試受験生にアドバイス



- ・椅子を並べて仕切られていて隣で面接している声もそのまま入ってくる。普段の練習より少し大きめの声で(知念)
- ・来年がどうかは分からないけど、待機するところは寒すぎるから、カイロとか持っておくと良い。(那覇西・国際人文科)
- ・英語の質問は2問程度でした。1つの教室で面接しているので、聞こえないことはありません。(那覇国際・国際科)
- ・適正検査は時間が足りなかつたりするので、事前に20分(社会、理科は15分)の時間感覚をつかんでいた方がいい。理科は計算問題多め。英語は、すべて長文読解だった。(開邦・学術探究科)
- ・選択科目希望調査がある学校は、もしかしたら第一希望にした科目について、理由を聞かれる可能性もあるから、しっかり答えられるように準備しておくことも良いと思います。私は聞かれました。(西原・文理コース)
- ・待つ場所ではみんな緊張しているため、自信を保つのがとても大事。面接官は優しく相づちをうってくれるわけじゃない場合がある。自信と他との違いを作る。(那覇西・普通科)
- ・進路の先生との面接練習するのが一番良い。本番、緊張しなくなる。志望理由とか将来の夢ははっきり伝えるようにする。(那覇商業・商業科)